

県民の森 植物紹介 ④0ーエゾアジサイ（アジサイ科）ー



北海道と本州の日本海側の雪の多い地域に自生し、梅雨から夏にかけて鮮やかな青色の花を咲かせます。青い花びらに見えるものは萼片で装飾花、真ん中にたくさんある小さい粒がほんとうの花です。小さくて分かりにくいですが、よく見てみると雄しべと雌しべがある両性花で、かわいい青い星型の形をしています。

装飾花はとても目立ち、昆虫に花粉があるのを知らせる役目をしています。花全体の形は平たいのでハナバチだけでなく甲虫類なども花に留まることができます。蜜はないのでチョウは来ませんが、花の最盛期は昆虫たちの羽音でとても賑やかです。花の盛りが過ぎ、雄しべから花粉が出なくなるころ、装飾花はくると裏返ってしまいます。これは昆虫に花が終わったことを知らせる合図だと考えられています。

一般的なアジサイは、花がほとんど装飾花になるように改良された園芸種です。種子は稀にしかできないので、「挿し木」で繁殖します。原種となったと言われているのはガクアジサイ。エゾアジサイとそっくりですが、暖地の海岸地方に自生している日本の固有種です。アジサイは日本から世界に広がりました。

県民の森では、いたるところでエゾアジサイやアジサイを観ることができます。また、記念の森にはアジサイ並木があり、咲き乱れるアジサイは圧巻です。花が見られる期間はとても長く、葉が落ちてドライフラワーになって、翌春まで残っています。冬に雪景色のなかで出会う花は、風情があって美しいです。



エゾアジサイ花全体 2020年7月21日



真ん中の両性花(拡大) 2020年7月21日



裏返った装飾花 2019年9月2日



ドライフラワー 2020年2月6日



園芸種のアジサイ 2020年7月17日



記念の森のアジサイ並木 2020年7月16日